

# 「ゆめの給食メニューを作ろう！」(6時間扱い)

Let's Try! 2 Unit7

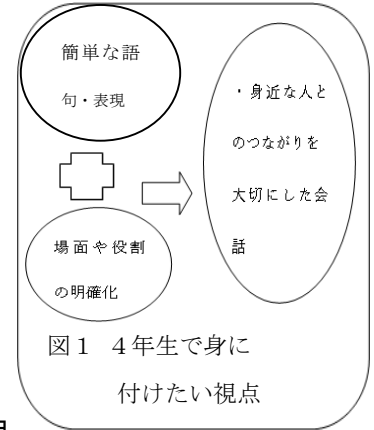
授業者 安彦 有里恵

## 1. 教材の特徴

### 系統性

本単元で学習する表現“What do you want?”は、3年生の Let's Try1 unit5 で学習する表現と類似しています。本単元においても、身近で簡単な事項について、自分の考えや気持ちが伝わるよう工夫して質問をしたり、質問に答えたりすることが大切となります。3年生では、相手の好きなスポーツや色等の尋ね方や答え方について学びます。4年生では買い物の場面で、店員やお客さんとして、欲しい野菜や果物を注文したり、渡したりする学習を行います。店での買い物の場面と、店員とお客さんという役割が明確になってきます。

そのため、この単元の学習では、簡単な語句・表現を使って場面や相手を意識した会話をするという視点を明確にしていくことが大切です。



### 見方・考え方

外国語活動の学習における見方・考え方は「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。」となっています。「相手意識をもつ会話」は、相手に配慮しながら会話をするということなので「他者との関わりに着目して捉える」という点につながります。

学習指導要領解説  
外国語活動編 p11

### 本単元の目的

ですから、本単元では、「欲しいものを尋ねる場面で、欲しいメニューを注文するための簡単な語句、基本的な表現を使って質問したり、質問に答えたりしようとする」ということを目的とします。

### メタ認知的振り返りと学習の関わり

4年生の学習では、語句・表現の知識・技能を得るだけでなく、相手に配慮した会話と場面や役割にあった会話という視点をとりいれるべきです。なぜなら、学習をしていく中で、メタな視点で自分の学習を振り返り、次に生かしていく学習活動が大切だからです。本単元では、授業の中で ICT を活用し、自分たちの会話をモニタリングし合う活動を取り入れます。自分たちの会話が相手にとってわかりやすいか、正しく言うことができているか等、具体的な指標に基づいた自己評価につなげます。



板垣 信哉 (2015)

授業の振り返りを行うことは、メタ認知的知識とメタ認知的活動の表出の場となり、次回の学習につなげていく手段として有効であることがわかってきました。(板垣 2015)

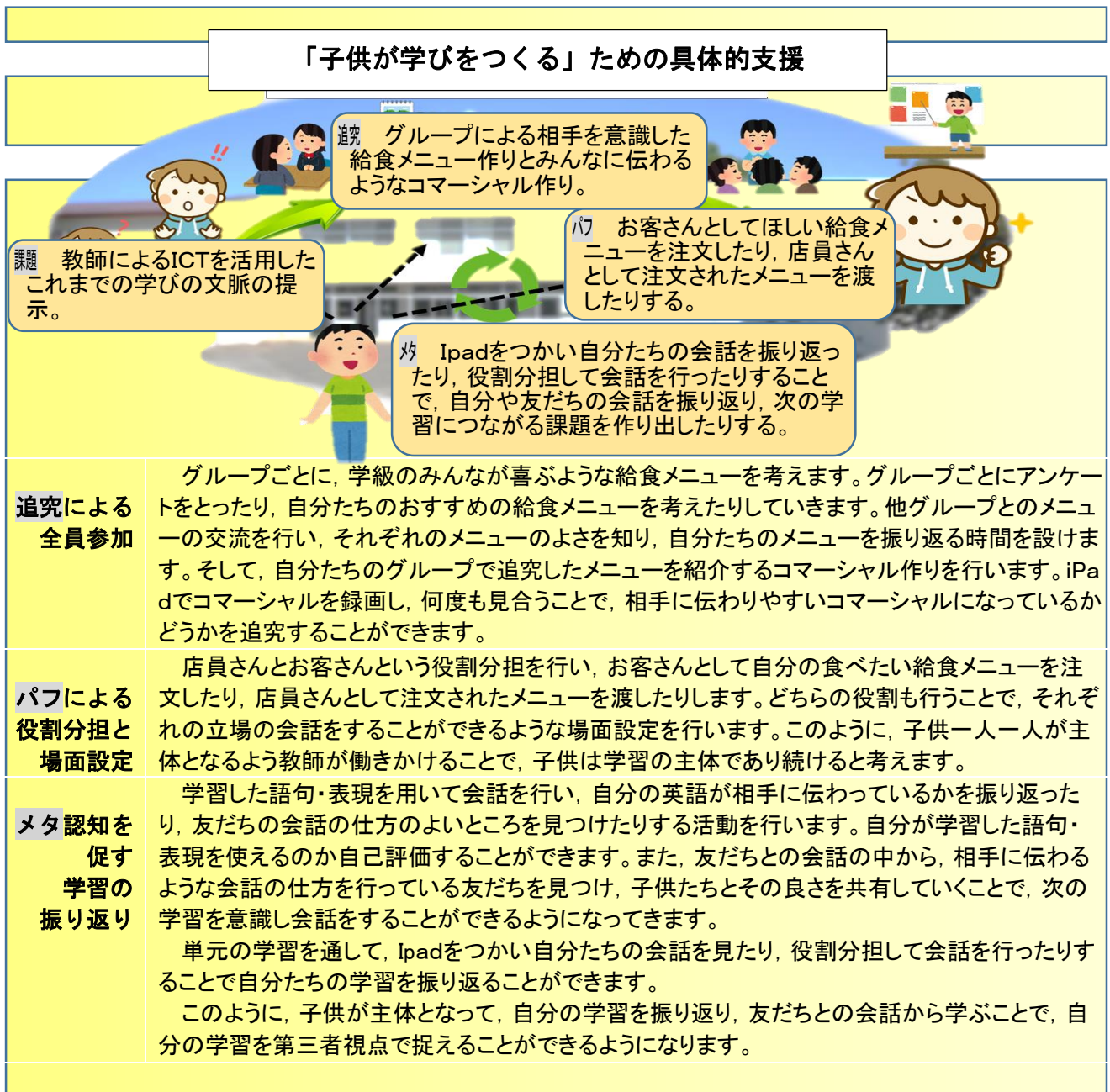
### 中心となる概念

相手意識をもつことができるよう、友達に喜んでもらえるような給食メニューを選ぶために友達の好きな給食は何か、好きな温食やおかず、主食、デザートは何か等の友達の好みを知りたいと考えます。さらに、グループで考えた給食メニューについてのコマーシャルを紹介する場面を設けます。その発表を聞いて、子どもたちは注文したい給食メニューを考えます。これにより、主体的に友達に喜んでもらえるような給食メニューを作ったり、選んだりしながら会話し学ぶことを目指します。

## 2. 本単元の目標と学習内容を身に付けた姿，具体的支援（課題，追究，パフ，メタ）

**目標** 欲しいものを尋ねる場面で，欲しいメニューを注文するための簡単な語句，基本的な表現を使って質問したり，質問に答えたりしようとする。

**本単元で鍛える見方・考え方** 周りの友だちとの関わりに着目して捉え，給食メニューを注文する場面で，店員さんとお客さんという役割にあわせて，外国語をつかい主体的にメニューを注文したり，渡したりすること。



**本単元の  
学習内容  
を身に付  
けた姿**

**知識・技能【知技】**  
欲しいものを尋ねる場面で，欲しい食材などを尋ねたり要求するための簡単な語句，基本的な表現を使って質問したり，質問に答えたりする。

**思考・表現・判断【思表判】**  
店員さんとお客さんという役割にあわせた会話を相手に配慮しながら行う。

**主体的に学習に取り組む態度【主】**  
店員さんとお客さんという役割にあわせた会話を相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う

## 4, 単元計画

|   | 子供の学習活動 (○)   | 時 | 教師の支援 (課題, 追究, パフ, メタ)  |
|---|---|---|---|
| 1 | <p>○ 給食を食べようとしている人の絵を見て, どんなことを言っているのか考え, 学習計画をたてる。</p> <p>○ 友達と会話している絵を見て, どんな会話をしているか想像する。</p> <p><b>メタ</b> 主体的に学習を進めていくことができるよう, 提示する場面から考えられる会話を想像するよう促す。</p> <p>○ 単元テーマを設定し,共有する。</p> <p>みんなの考えたゆめのメニューの注文をしよう。</p>  | 4 | <p><b>追究</b> グループごとにすきな給食メニューを考えてみよう。</p> <p>グループごとにみんなが喜んでくれそうな給食メニューを考えよう。</p> <p>☆ <u>友だちの好みを知ることができるよう, 好きな給食メニューをインタビューする場面を設定する。</u></p> <p>○ 他グループとのメニューの交流場面を設け, 自分たちのメニューを振り返る。</p>              |
| 2 | <p><b>課題</b> 単元の学習の見通しをもつことができるよう, 課題を提示する。</p> <p>○ お店屋さんで, 何が欲しいか言う表現と何がほしいという表現を考える。</p> <p>お店屋さんで注文する言い方を知ろう。</p> <p>○ ・ What do you want?<br/>・ I want ~. の言い方を学習する。</p> <p>○ ペアで会話の練習をする。</p> <p>○ 本時の学習の内容をふりかえり, 交流する。</p> <p><b>課題</b> 何を注文したいかを質問したり, 欲しい物を答えたりすることができるよう, 英語を使った言い方を教える。</p> | 5 | <p><b>追究</b> グループごとに考えた温食, おかず, 主食, 飲み物の紹介を考えよう。</p> <p>グループごとに給食メニューを考え, 紹介を考えよう。</p> <p>○ <b>ipad</b>をつかって, 自分たちの考えた給食メニューの商業動画を作る。</p> <p>☆ <u>必要感をもって注文することができるよう, グループごとに給食メニューの紹介する場面を設定する。</u></p> |
| 3 | <p>○ メニューをいくつか注文したい場面を考え, 質問や答えを考える。</p> <p>メニューを, いくつか注文する時の言い方を知ろう。</p> <p>○ ・ How many ~?<br/>・ Two, please. の言い方を学習する。</p> <p>○ ペアで会話の練習をする。</p> <p>○ 本時の学習の内容をふりかえり, 交流を行い, 次の学習につながる課題を作り出す。</p> <p><b>課題</b> いくつ必要かを質問したり, 答えたりすることができるよう, 英語を使った言い方を教える。</p>                                    | 6 | <p><b>パフ</b> グループごとに考えた給食メニューの紹介を聞いて, 注文してみよう。</p> <p>グループごとに考えた給食メニューの紹介を聞いて, 注文してみよう。</p> <p><b>メタ</b> グループごとに考えた給食メニューの紹介を聞いて, どのグループの給食を注文したいか考える場を設ける。</p> <p>○本時の学習の内容をふりかえり, 交流する</p>              |

5, 本時案 (6 / 6)

|  |   |
|--|---|
| <p>本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 店員さんとお客さんという役割にあわせた会話を主体的に行い、自分の好きなメニューを選んで注文したり友だちの注文にあったメニューを渡したりする。</li> </ul>  |   |
| <p>学習活動 (○) と子供の姿</p>  | <p>教師の支援 (☆, 課題, 齟齬, パ7, 灼) と評価 (◇)</p>   |
| <p>○ warm up を行う。</p> <p>○ 動画で友達の会話を見て、前回まで学習した質問や答え方を振り返る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>何がほしいか聞くときは<br/>What do you want? と聞くと</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>いくつか数を聞くときは、<br/>How many ~? と聞くと伝</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>○○くんは牛乳を2つと答えることが出来ていいね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>渡すときは Here you are. と言うといいだね。</p> </div> </div>   | <p>灼 これまでの学習を動画視聴を通して行い、自分たちの会話や友達の会話のよかった所を明確にし、これからの学習に活かすことができるようにする。</p> <p>課題 <u>子供たちの振り返りの言葉から、課題を設定し、より自主的に課題に取り組めるようにする。</u></p>  |
| <p>○ 本時の課題について見通しをもつ。</p> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>みんなの考えた ゆめの給食メニューを注文しよう！</p> </div> <p>○ グループで考えた給食メニューの commercials を動画で見る。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>グループで考えた給食メニューの commercials</p> <p>Welcome to my shop!</p> <p>This is ○○ .</p> <p>This is a fried bread.</p> <p>This is a fried chicken.</p> <p>This is a corn soup.</p> <p>This is a yogurt.</p> </div> <p>○ お店屋さんとお客さんになって会話する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>S1: Hello! What do you want?</p> <p>S2: I want a ○○ .</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>S1: How many ramens?</p> <p>S2: Two, please.</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>S1: How many soups?</p> <p>S2: Two, please.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>S1: Here you are.</p> <p>S2: Thank you. See you.</p> </div> </div> <p>○ ふりかえりカードに記入し、交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>たくさんのお友だちがぼくたちの班の給食メニューを注文してくれてうれしかった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>友だちの注文を聞いてメニューを作って渡すことが出来た。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>○○さんはラーメンがすきだということがわかった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>学習した表現を、外国に行ったときに使ったり、外国の人に言ってみたりしたいな。</p> </div> </div> | <p>追究 <u>必要感をもって注文することができるよう、グループごとに給食メニューの紹介する場面を設定する。</u></p> <p>灼 給食メニューの commercials を聞いて、グループごとに考えたメニューの良さや、わかりやすい紹介の仕方を行っているか考える場を設ける。</p> <p>灼 グループごとに考えた給食メニューの紹介を聞いて、どのグループの給食を注文したいか考える場を設ける。</p> <p>追究 店員さんとお客さんとして、注文と商品を渡すやりとりが主体的に行うことができるよう、給食メニューを注文する場を設定する。</p> <p>パ7 店員さんとしてメニューの注文を聞いたり、お客さんとして自分の食べたいメニューを注文したりするとともに、店員さんとして注文を受けたメニューを渡そうとしている。</p> <p>灼 店員さんやお客さんとしてやりとりをする中で、自分の会話や友だちの会話を振り返ったり、友だちの会話のよいところを考えたりしながら会話をを行う。</p> <p>◇ 店員さんとお客さんの役割にあわせた会話をを行い、自分の好きなメニューを注文したり、友だちの注文にあったメニューを渡したりする。</p> |

